

<p>第222回 都市懇サロン レポート</p>	<p>今すぐ使える i-都市再生 ～都市構造可視化を活用したまちづくり～ 立地適正化計画の策定、都市計画の見直しなどの際に活用できる「都市構造可視化計画」ウェブサイト (<a href="https://mieruka.city">https://mieruka.city</a>) について、その背景や活用方法、今年度活用可能な支援制度について説明します。また、実際に活用した事例について、具体的な都市の可視化を行いながら、わかりやすく説明します</p>		
<p>講師</p>	<p>国土交通省 都市局都市政策課 企画専門官 赤星 健太郎 氏 (内閣府 地方創生推進室 都市可視化調整官 (併任))</p>	<p>開催日</p>	<p>平成 30 年 6 月 12 日 (火) 18:00~19:30</p>
<p>講師 プロフィール</p>	<p>1996 年 建設省入省 2006 年 国土交通省関東地方整備局都市整備課長 2013 年 福岡県都市計画課長 2016 年 内閣府 地方創生推進室 都市可視化調整官 2018 年現職</p>		
<p>お話の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都市構造可視化活用の背景 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地図上に統計データを可視化することにより、 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の特性や課題を一目で認識</li> <li>② 経年変化の表示が可能</li> <li>③ 他地域との比較も可能</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>2. 都市構造可視化の特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 統計データの 3 次元表示</li> <li>● 時間の経過に伴う変化を見ることができる</li> <li>● 全国の都市との比較が可能</li> <li>● メッシュにより様々なデータのクロス表示が可能</li> <li>● ストリートビューとの一体的な利用が可能</li> </ul> </li> <li>3. 都市構造可視化の方向性 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 集約型の都市づくりに向けた施策の立案や検証のための基礎資料</li> <li>● 様々な分野における官民協働や地域間連携、政策関連を図るための合意形成ツール</li> <li>● 市町村や企業、地域住民と情報を共有し、地域の特性を生かした持続可能なまちづくりを推進</li> </ul> </li> <li>4. サービスの提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高さや色を指定して、独自データの可視化を行うサービスを提供中</li> <li>● 都市構造可視化計画ウェブサイトでは、データそのものをダウンロードすることなく表示</li> <li>● 行政内部に蓄積されている多くのデータについて、利用規約を変えることなく報告書等に掲載可能なものもある</li> </ul> </li> <li>5. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内閣府では、具体の事例での活用を推進しており、平成 30 年度では調査などで活用する場合に少額であるが補助金を出すことも予定している。</li> </ul> </li> </ol> <p>都市構造可視化のウェブサイト <a href="https://mieruka.city/">https://mieruka.city/</a></p>		
<p>意見交換の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市構造可視化計画のウェブサイトを使うことの意義が分かりにくい。 ⇒ これを利用することによって、データ自体をダウンロードさせないようにすることができるという点がメリットである。</li> <li>● 視点を変える操作を、アドリブではなく記録、再現できる方法はないか。 ⇒ 機能としては持っていないが、ムービーを記録する方法が考えられる。</li> <li>● どれくらいの期間で都市構造を可視化する技術を身に着けることができるか。 ⇒ 国で自治体職員向けに研修を行っている。40 代よりも若手の職員は覚えが早い。</li> <li>● 統計データの表示にあたって、表示方法をカスタマイズできないか ⇒ 現段階では、カスタマイズすることはできない。</li> </ul>		
<p>記録者のひとこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市構造可視化計画ウェブサイトで提供される各種メッシュデータを 3 次元化することにより、都市構造＝人口分布などの状況が把握しやすくなることから、都市計画における合意形成などに活用することが期待される。報告書への活用も期待される。</li> <li>● 具体的な利用方法について、実際にデータを扱うような講習会を開催することも望まれる。</li> </ul>		